

《新体力テストの結果と考察》

～これからの取り組みについて～

9月1日

体育的行事

今年度の新体力テストの結果と考察をまとめました。※グラフは、2～3枚目にあります。

杉並第二小学校（以下、杉二小）の全体結果を見ると、全国平均より大きく上回っている種目は「立ち幅跳び」しかないことが分かります。それ以外の種目は、平均値か平均値を下回っているかという結果になりました。平均値より大きく下回っている種目がたくさんあるわけではないのですが、平均値より上回っている種目が少ないことから、やはり杉二小児童の体力は低いと考える方が妥当だと感じます。ただ、グラフの見方によっては、よく言えば全体的に平均値にいるように感じます。平均値にいるということは、【得意】【不得意】の児童がバランスよくいるということにもなります。

その背景としては、やはり最近よく言われている運動の二極化です。そして、杉二小はここ数年、校庭のない環境で学校生活を過ごしていることも大きく影響していると考えています。校庭のない環境の中でも、東田中のテニスコート、野球場、杉二前広場、センター広場などの地域の施設を活用してしました。限られた環境の中ではありましたが、外で遊んだり運動したりする経験をさせてきましたが、やはり校庭があるのとないのとでは運動量の差は大きかったと感じます。

来年度から、いよいよ校庭での遊びや運動ができるようになります。ただ単に、新体力テストの結果を底上げするのを目的とするのではなく、朝の時間や休み時間を活用した体育的活動の導入を検討したり、体育学習の質を向上させたりしていくことで、必然と新体力テストの結果が向上することをねらいたいと考えています。校庭や体育館での活動を体育的行事委員会中心で検討し、全校に発信していくことで、杉二小児童の体力向上に励んでいきます。そして何よりも、「運動が好き」と思ってくれる児童を増やしていくことを目標にこれからも取り組んでいきます。

最後に、新体力テストの結果から、特に課題を感じている種目とこれから伸ばしていきたいと考えている種目は、俊敏性（すばやく方向を変える能力）の「反復横跳び」、全身持久力（心肺持久力）の「20mシャトルラン」、投力・筋力（特に肩と腕の筋力と全身運動性）の「ソフトボール投げ」です。この種目の記録が向上するように、これからも体を動かすことの楽しさを伝えていきます。



杉二小の結果と全国平均(50)を比べたグラフ

1年男子



【1年生】

全国平均を上回っている種目は
「立ち幅跳び」
「男子 50m 走」
数値が5 以上
下回っているのは
「握力」
となった。

1年女子



2年男子



【2年生】

全国平均を上回っている種目は
「男子 立ち幅跳び」
数値が5 以上
下回っているのは
「握力」
「ボール投げ」
特に、女子は全種目
下回っている結果
となった。

2年女子



3年男子



【3年生】

全国平均を上回っている種目は
「女子 立ち幅跳び」
しかし、3年生は
ほぼ全種目において
下回っている結果
となった
特に、「握力」
「ボール投げ」
「反復横跳び」
が7 以上も
下回っている。

3年女子



4年男子



【4年生】

全国平均を
上回っている種目は
「男子 立ち幅跳び」
女子は全項目において
下回っている結果
となった
特に、「ボール投げ」
「女子 50m 走」
5 以上
下回っている。

4年女子



5年男子



【5年生】

全国平均を
上回っている種目は
「男子 20m シャトルラン」
「女子 立ち幅跳び」
全体的に平均値と近い
種目が多いが
「ボール投げ」
だけ 5 下回っている。

5年女子



6年男子



【6年生】

全国平均を
上回っている種目は
「長座体前屈」
「上体起こし」
「女子 反復横とび」
「女子 20m シャトルラン」
と上回っている種目が
比較的多い
下回っている種目は
「ボール投げ」
「握力」「50m 走」
となった。

6年女子

